

地域振興県土警察常任委員会資料

(平成28年12月15日)

- 1 山陰地域限定特例通訳案内士養成特区の対象言語の追加 (ロシア語・フランス語) について
【観光戦略課】・・・1ページ
- 2 レゲエマラソンへの鳥取県選手の派遣結果等について
【交流推進課】・・・2ページ

観光交流局

2

2

山陰地域限定特例通訳案内士養成特区の対象言語の追加（ロシア語・フランス語）について

平成28年12月15日
観光戦略課

増加する外国人観光客のおもてなしのため、昨年度より構造改革特別区域制度を活用して山陰両県の観光はもとより、特色ある文化や自然等を通訳案内士できる「山陰地域限定特例通訳案内士」の養成を鳥取・島根共同で行っているところです。今年度更なる外国人誘客促進に向けた受入環境の充実を目的として養成対象言語の追加（ロシア語・フランス語）の変更申請を内閣府に行っていたところ、平成28年11月29日付けで承認されましたので報告します。

1 山陰地域限定特例通訳案内士養成特区について

○平成27年11月27日付けで鳥取・島根共同で構造改革特別区域の認定を受け、英語・中国語・韓国語の3言語の山陰地域限定特例通訳案内士の養成を実施。

○環日本海定期貨客船（DBSクルーズフェリー）により直結しているロシア、欧州圏で訪日観光客数上位を占めるフランスをターゲットに受入環境の整備を推進するべく養成対象言語にロシア語、フランス語を追加したもの。

※ロシア語、フランス語の養成については平成29年度から実施

<参考1>山陰両県の通訳案内士（国家資格）登録者数（平成28年10月31日現在）

英語：49名（鳥取県在住20名、島根県在住29名）

中国語：9名（鳥取県在住2名、島根県在住7名）

韓国語：5名（鳥取県在住4名、島根県在住1名）

ロシア語：1名（鳥取県在住1名、島根県在住0名）

フランス語：3名（鳥取県在住2名、島根県在住1名）

※山陰地域限定特例通訳案内士登録者数（合計102名、平成28年11月30日現在）

英語：58名（鳥取県在住29名、島根県在住29名）

中国語：34名（鳥取県在住22名、島根県在住12名）

韓国語：10名（鳥取県在住3名、島根県在住7名）

<参考2>構造改革特区を活用した地域限定特例通訳案内士について

・通訳案内士として活動（報酬を得るの通訳案内業務）するためには、日本政府観光局が実施する合格率が2割程度の試験に合格する必要があるのに対し、構造改革特区を活用した場合、指定地域の自治体が実施する研修修了・登録により活動（指定区域内）が可能。

・山陰地域の実情に特化した養成研修を通して、山陰の特色ある文化や自然等の観光情報に精通し、外国人観光客の求める詳細な情報を提供する通訳案内士を養成することができる。

2 平成28年度山陰地域限定特例通訳案内士養成研修について

○研修期間：平成28年12月17日～平成29年3月11日

（各土日に計13日間、口述試験含む）

○研修会場：島根県民会館、松江アーバンホテル

○対象言語：英語、中国語、韓国語

○研修内容：語学、旅程管理、鳥取・島根両県の観光、救急救命、模擬研修など
合計75時間

○受講料：無料

○受講生：合計39名（鳥取県在住15名、島根県在住22名、県外在住2名）
（内訳）

英語21名（鳥取県在住7名、島根県在住13名、広島県1名）

中国語10名（鳥取県在住5名、島根県在住5名）

韓国語8名（鳥取県在住3名、島根県在住4名、福岡県1名）

レゲエマラソンへの鳥取県選手の派遣結果等について

平成28年12月15日
交流推進課

今年3月に締結したジャマイカ・ウェストモアランド県と鳥取県との姉妹提携に基づいた交流の一環として、ウェストモアランド県で行われたレゲエマラソンに鳥取マラソン上位入賞者を派遣したところ、その成績は次のとおりでした。

1 派遣選手（両者とも鳥取市出身）及び結果

氏名	記録	順位	職業	備考
谷口 晃太 (タケグチ コウタ)	2時間38分49秒	男子1位	消防士 (東部消防)	2016鳥取マラソン男子1位 (記録:2時間29分29秒)
近藤 さくら (コトウ サクラ)	4時間43分03秒	女子20位	専門学校生 (松江市内) ※鳥取商業高 校卒業生	2016鳥取マラソン女子4位 (記録:3時間17分32秒)

(参考)

- ・2016年レゲエマラソン(フルマラソン)は、男子86名、女子49名、合計135名が参加し、女子の優勝記録は、3時間39分15秒
- ・谷口選手の記録は、レゲエマラソン歴代男子6位



号砲を待つ谷口、近藤両選手

2 レゲエマラソンの概要

毎年12月の第1土曜日にウェストモアランド県ネグリルで開催。コース1マイル毎にサウンドシステムが設置されており、レゲエを聴きながらマラソンを楽しめるのが特徴。今回2016年大会には、38カ国から参加者が集い、2,072名が参加(フル135名、ハーフ599名、10km1,338名)。

3 その他

- グラウンド・ゴルフの発祥地として、その普及を通じた鳥取県の情報発信を図るため、地元の高校生等を対象としたグラウンド・ゴルフのデモンストレーションを行った。
- ジャマイカ陸上競技連盟の陸上交流事業に係る現地視察等を行った。
- 来年3月の鳥取マラソンにレゲエマラソンの上位入賞者を招聘予定。

(参考) 渡航日程

月日	主な日程	備考
12/1(木)	・モンテゴベイ着(11/30(水)鳥取発)	ネグリル泊
12/2(金)	・事前トレーニング(谷口選手、近藤選手、国森常務理事) ・ウェストモアランド県と交流協議(交流推進課) ・レゲエマラソン前夜祭(鳥取県PR)	ネグリル泊
12/3(土)	・レゲエマラソン出場	ネグリル泊
12/4(日)	・グラウンド・ゴルフのデモンストレーション(Negril hills) ・キングストンへ移動	キングストン泊
12/5(月)	・ジャマイカ陸上競技連盟との陸上交流事業の協議・現地視察	キングストン泊
12/6(火)	・キングストン発(12/8(木)日本着)	

※近藤選手は12月4日のグラウンド・ゴルフのデモンストレーションの後に現地発(12月6日に日本着)。